

認知症ってなに？

認知症とは、さまざまな原因で脳の細胞が壊れる、または動きが悪くなることによって、記憶・判断力などが低下し日常生活に支障が出ている状態（およそ6カ月以上継続）をいいます。

脳の病気や脳に影響を及ぼす体の病気により、これまで培ってきた知識や技術が永続的に失われ、社会生活に支障をきたすようになった状態をいいます。誰もが経験することになる脳の老化現象が正常の加齢過程よりは早く出現し、年齢に比して強く現れ、また促進された状態ともいえます。

どんな症状に気をつければ良いのですか？

以前とは何かが違うという感覚が、最も初期の兆候として大切です。

認知症の代表的な症状

- さっきのことを忘れて、同じ事を何度も聞く
- 置き忘れやしまい忘れ、紛失が増える
- 買ったことを忘れて、同じ物をいくつも買う
- 火の消し忘れ
- テレビ番組の内容が理解できない
- 着替えや身だしなみ、入浴などを面倒になりしなくなる
- 周囲に対して無関心になる
- リモコンや炊飯器などの日用品の使用手順がわからなくなる
- 料理、片付け、計算、運転などのミスが多くなった
- 怒りっぽくなった

など

